

マンセンレンブクソウ

Adoxa moschatellina f. *japonica*

レンブクソウ科

カテゴリー

大分県 IA

環境庁 掲載なし



種
子
植
物

溪流沿いや田んぼの畦などに生える草丈15cmほどの小さな多年草。長い柄のある根生葉は2回3出の複葉で、表面は淡緑色、裏面は緑白色。茎にも1対の3出複葉がある。花期は早春の3～4月、茎の先に直径7mmほどの淡黄緑色の花がくっついてつく。大陸系遺存植物で、本県では南西部のごく限られた狭い範囲に分布する。個体数は極めて少なく、水田耕作によるかく乱や生育地の環境変化で、絶滅の危険性が極めて高い。

(写真：小代連枝 文：阿孫久見)

県内分布 大野川上流域

分布域 九州(熊本・大分)

朝鮮半島, 中国(東北部)